

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	尼崎市の子ども食堂における伝統野菜の学習機会の創出			
申請大学・高校等名	大学及び 高校等名	武庫川女子大学		
	活動 グループ名	むこじょ子ども食堂がかり	参加学生 等人数	53 人
指導責任者名 及び連絡先	学部・学科等 名称	文学部日本語日本文学科		
	責任者氏名	設楽 馨	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	モコモコ倶楽部		
	代表者氏名	小林三枝子	連絡先 電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団 体及び代表者名	団体名	(株) ハウスビルシステム		
	代表者氏名	假屋由希子	連絡先 電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動 目標	本活動では、尼崎市の子ども食堂(モコモコ倶楽部と大庄北生涯学習プラザ)で子ども達やスタッフと武庫川女子大学生とが、伝統野菜や調理により交流することで、地域特性や栄養、歴史など、伝統と食を継承し、より豊かな共生社会の構築を目指す。			
活動内容及び 実績、評価	・4月に説明会、参加スタッフ共有のTシャツデザインと作成 ・4月18日(木)モコモコ倶楽部5名見学、25日35名が保険加入 ・10月より後期スタッフとして学生・院生40名を追加。28名が保険加入 ・5月2日(木)モコモコ倶楽部にて2名が学習支援、配膳等手伝い(以下、同部詳細は日付と人数で示す)6月6日2名、6月20日7名、7月4日1名、9月19日3名、10月17日3名、11月7日4名、11月21日6名、12月5日3名、19日クリスマス会12名、2025年1月16日1名、2月20日1名、3月6日1名 ・5月25日(土)大庄北生涯学習プラザにて7名がサンドイッチの調理補助、共食(以下、同プラザ詳細は日付と人数とメニューで示す)6月22日7名おにぎらず、9月28日3名ぎょうざ、10月19日4名お好み焼き、11月30日3名ペッパーライス、12月15日カレー2名、2025年2月1日6名恵方巻 ・10月6日(日)市民まつりに9名で準備、子ども食堂の取組を紹介、約100名来場(評価) ①学生:伝統野菜ではないが食育クイズや調理を通し市民活動団体に支援できた。 ②市民活動団体の活動者:モコモコ倶楽部はコロナ明けに利用者の急拡大で混乱が見られたが夏季には収束し、冬季にかけては教材を持ち込み利用者の学びを深めた。 ③指導教員:他学部・他学年の交流が促進できた。大庄北生涯学習プラザは今年度新たにボランティア先として加えた。ここでは子どもや保護者に密接に関わり、調理参加の支援が行き届いた。2か所の活動により地域への関心が深まり、ワークショップへの参加も見られた。当初予定した伝統野菜は入手や時期、予算の面で活用が難しかったが、子ども食堂に対し、貧困や学習の遅れを感じながらも、子どもの発達への関心が深まった。 大学ホームページ「学生が取り組む子ども食堂のサポート活動が5学科と大学院にも広がっています。」:https://info.mukogawa-u.ac.jp/publicity/newsdetail?id=4737			

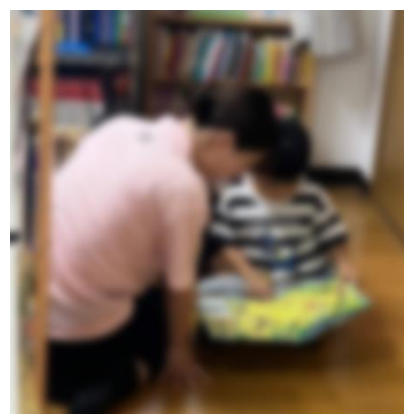
※ 写真

モコモコ倶楽部(T シャツは、現地集合する初顔合わせの他学科学生の身分証明にも役立ちました)



子どもたちは、それぞれの居場所として
子ども食堂を活用しています。

学生は、個性の異なる子どもたちに合わせ、ボール遊びをしたり、
本と一緒に読んだり、女兒のおしゃべりを聞いたりしました。



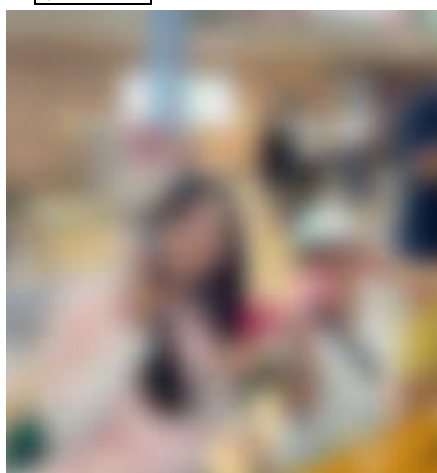
大庄北生涯学習プラザ



9 時、事前にスタッフが材料を購入して、学生は材料の下ごしらえから手伝いました。

11 時(メニューによって 10 時)に子どもが集まり、申込者の出席確認をして名札を配り、席についてもらいます。各テーブルで仕上げをして、完成した料理を一緒に食べます。作って食べる食事は、特に美味しく感じました。

市民まつり



折り紙や塗り絵をしながら、子ども食堂で
活動を市民に広めました。



教材(味ことばゲーム)



メニューにぴったりあうように、
味の表現を選ぶカードゲーム。
この食べ物のはどんな味かを、
話し合って全員で味表現を決めるので、初対面でも交流を深められます。